



篠沢先生に小学校時代の先生方の様子を聞く

# 篠沢先生 宅訪問

## 3/4(金)

## あの頃の先生方は今もお元気ですか

### 篠沢先生はお元気でした

現在 84 歳。少し耳が遠くなったとのことですが、いたって元気な様子でした。田尻小学校にいらしたのは昭和 29 年から昭和 40 年までとの事。ご結婚を機に沼部小学校から田尻小学校へ移動なされたそうです。田尻の後には不動堂小学校へ移動され大郷小学校の校長として最後の教員生活を送られました。

ご自宅は沼部で江戸末期から 5 代目で先祖は鍛冶屋をやっていたそうです。

田尻小学校へは毎日自転車で通われ、当時からお酒が大好きで中々家には帰り着かなかつたとの噂もあります。特に家庭訪問の時などは、今と違いお酒を出す家庭も有ったりして最後の家庭を訪問する時間が午後 10 時という時もあったとの事。

田尻小学校時代の思い出をお聞きしますと、宮城県北部地震（\*1）が一番

衝撃的で印象に残っているとの事でした。ちょうどその日は PTA 総会だったそうで、地鳴りがしたかと思うと、机がすべて前のめり、ピアノが大きく動き、消火器が泡を吹く。体育館の壁が雪崩のごとく落ち一面が煙が立ったように真っ白になり、体育館の中は父兄の悲鳴で騒然とした状態が続いた（そうです）。正門の門柱も倒れるなど、2011 の東日本大震災を思わせる大地震だったようです。（因みに私たちはこの翌年に入学）

（\*1）1962 年 4 月 30 日 11 時 26 分 24 秒、宮城県北部で発生した地震。震源は、宮城県登米郡（現：登米市）迫町付近（北緯 38 度 44.4 分、東経 141 度 8.3 分）で、震源の深さは 19km、地震の規模を示す M 6.5。被害は田尻町、南方村（現：登米市南方町）が中心で、死者 3 人、負傷

小学校のアルバムをお見せして、お元気でいらっしゃる先生方の情報をお聞きしましたが、篠沢先生もその当時一番若い先生だったらしく、多くの方はすでに亡くなっておりまして。因みに元気でいらっしゃる先生方は、

梅森先生、佐藤愛子先生、赤間先生、山村令子

あたりでしょうかとの事でした。



実は、訪問前日某所に今年初めてのヤマメ釣りに行きまして、大小合わせて 7 匹ほど確保してきました。それを手土産に篠沢先生宅に訪問した次第です。